

## 第 18 回アンケート結果 (抜粋)

### 1. 一般講演 2 : 「プロジェクト管理に於けるパフォーマンス測定方法について」

1. 知識のデータを登録する際のインセンティブは何を想定されていますか (誰が登録するのでしょうか) ? また着手日を登録する必要性が明確に分かりません。

提案している着手日管理プロジェクトマネジメントは担当者のためのプロジェクトマネジメントシステムであり、進捗報告を減らすことを目標にしていますので、登録は担当者が進捗報告の代わりに登録することになります。プロジェクト中のタスクには開始すると順調に進むものと全く進まないものがあり、これは事前準備が十分であったか否かが大きく関係しています。しかし現在は準備作業をしているかどうかを明確に管理していません。そこで、十分な準備作業を促すのが着手日管理です。人の生産性が最も不確実な要素です。

2. プロジェクト管理の方法論として並列的なジョブで実行する方法論としては新しいものではないが、進捗については立ち上がり期間の作業方法に着目された研究ですね? 各工程をどのように分割するかについては、何か良い方法があるのでしょうか?

コンカレントエンジニアリング的には上流からの仕様情報や製作情報を待つ必要があるか無いかにより平行作業を組むことになり、しかし着手日管理では準備作業の並列作業化を目指しています。準備作業は上流情報の必要性ではなく、目的と成果物が具体化すれば並列化することができますので、着手日管理では成果物作成に向けて具体的に今出来る作業を探して並べることになります。例えばシステム開発では良く、インターフェース検討などの項目がありますが、これを送信データ一覧表の作成と受信時演算処理一覧表の作成、信号送受信タイミングチャート作成の3つをノウハウ的に成果物までが具体化できれば、各担当者に事前作業を振り分けることができ、実際の開発作業開始時に多少の仕様変更があっても簡単に問題点を解決することができ、能力のあるプログラマーを予定の時間従事させれば、計画通りにインターフェースが完成する確率が高まります。

